

# とだ 議会だより

No. 233

12 令和7年  
月定例会

発行：2026年1月31日



国の交付金を活用した物価高騰対策で市民を応援！ ▶ 03

そこが聞きたい！一般質問 19人の議員が質問 ▶ 06

議会を知っ toco！ 特別編 ～議員紹介④～ ▶ 18



Instagram



Facebook



戸田市議会HP

戸田市議会

検索

<https://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/>  
表紙：スポーツフェスタ（石川清明議員撮影）

# スポーツフェスタに 行って来ました!

表紙写真  
紹介



令和7年12月21日(日)に、戸田市スポーツセンターで開催された「スポーツフェスタ」に議会広報委員が伺いました。毎年人気のかけっこやサッカーに加え、車いすラグビーや陸上ボート(エルゴメーター)などのなかなか体験できない競技のブースや、ヒップホップダンス、ブレイキン、空手道のステージ発表もありました。会場は大盛況で、子供から大人まで、来場された皆さんはさまざまな競技を楽しそうに体験していました。本イベント中にも「スポーツを始める!」といった声も聞こえてきました。



会場となった戸田市スポーツセンターは、現在、再整備に向けた基本構想の検討が進められています。市議会でも令和6年の市民生活常任委員会において「戸田市スポーツセンター再整備に向けた提言書」により、スポーツ機能の充実をはじめ、誰もが気軽に集えるまちのにぎわい創出につながるような施設となるよう提言しました。今後も再整備の動向に注目していきます。



提言書の内容はこちら

令和7年12月定例会

11月27日~12月24日

議案などの  
詳細はこちら



## 主な議案

今定例会では、市長提出議案などが35件、議員提出議案が7件提出され、いずれも承認・可決されたほか、請願・陳情については4件が不採択となりました。ここでは、主な議案や、討論が行われ賛否が分かれた議案などを紹介します。

## 国の交付金を活用した物価高騰対策で市民を応援!

国の重点支援地方交付金の交付が決定されたことを受け、12月17日に閉会予定だった定例会の会期を24日まで延長し、市民・事業者への支援のための補正予算を迅速に審議・可決しました。

### 補正 予算

議案第120号 令和7年度戸田市一般会計補正予算(第8号)  
議案第121号 令和7年度戸田市水道事業会計補正予算(第2号)

## 全世代を守る5つの暮らし応援パッケージ

原案可決(全会一致)

- Q** 高齢者へのお買い物券はどのような形で届くのか。  
**A** 500円券を20枚、計1万円を送る予定である。
- Q** 省エネ家電買換え費用の補助の期間は、すでに購入したものは対象となるか。  
**A** 申請の受付期間は令和8年1月13日から3月2日まで。対象は令和7年4月1日以降に購入した省エネエアコン・省エネ冷蔵庫である。

総額 12.5 億円

## 全世代を守る5つの暮らし応援パッケージ

- ① こども全員! **子育て支援** | こども1人あたり2万円
- ② 高齢者全員! **お買物券** | 65歳以上1人あたり1万円
- ③ 申込者全員! **TODAPAY** | 過去最大! 40%のプレミアム付与
- ④ 市民全員!! **上下水道料金** | 基本料金2か月無料
- ⑤ さらに!!! **省エネ家電** | 買換え費用補助

※各事業の詳細については、市ホームページをご参照ください

補正  
予算

## 議案第 106 号 令和 7 年度戸田市一般会計補正予算（第 6 号） スポーツセンター基本構想策定業務の期間の変更

原案可決（全会一致）

賛成

政策 TODA  
遠藤 英樹 議員



スポーツセンター基本構想策定業務において、建て替えを検討していく中で、現在の建物を引き続き利用する可能性が出てきているとのこと。既存の建物のみを引き続き利用することには反対だが、新築・増築による機能拡大に加え、既存の建物の利用も選択肢に入れることを可能にするものだという認識のもと賛成とする。



戸田市スポーツセンター

条例

## 議案第 117 号 戸田市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例 「こども誰でも通園制度」の実施に向けた条例

原案可決（全会一致）

賛成

日本共産党戸田市議団  
花井 あきこ 議員



こども誰でも通園制度を適切に実施するために極めて重要な条例。保育士確保施策を継続的に充実させ、現場に過度な負担が生じさせないこと、事故防止の観点から立ち入り調査や指導監査を含めた安全管理を徹底することなどを求める。すべての子供の育ちを応援し良質な生育環境を保障する制度へと発展していくことを強く期待する。



請願

## 請願第 1 号（令和 7 年） 日本政府に核兵器禁止条約への参加・署名・批准をするよう 意見書の提出を求める請願

不採択（賛成 3 人 反対 19 人）

反対

戸田の会  
酒井 いくろう 議員



核廃絶は究極の目標だが、日本に第三の被爆都市を生まないことが最優先であり、核抑止力なしに日本を守ることはできない。また、核兵器禁止条約は日米安保体制や米国の「核の傘」との整合性が根本から覆されることとなる。現実の脅威を踏まえ、戦争抑止こそが最大の福祉であり、平和都市宣言の理念と安全保障政策を混同すべきでない。

賛成

日本共産党戸田市議団  
むとう 葉子 議員



日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞は、日本が唯一の戦争被爆国として核兵器廃絶に向けた国際的な取り組みをリードする責任があることを再認識させるものである。我々には核兵器のない平和の世界を子供たちに手渡す責任があり、平和都市宣言の理念のもと、全世界に核兵器の廃絶を訴え続けていくべきである。

陳情

## 陳情第 6 号（令和 7 年） 学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い

不採択（賛成 1 人 反対 20 人）

反対

戸田の会  
佐藤 太信 議員



学校教材備品が学習意欲向上に重要である点は理解するが、本陳情の内容は国の教材整備指針等に基づき、既に教育委員会を中心に必要な判断と対応が行われており、一律に計画策定を求めることは現場の裁量を狭める恐れがある。本市はすでに必要に応じた協議や連携が行われており改めて要請する必要性は乏しいと考える。

賛成

日本共産党戸田市議団  
むとう 葉子 議員



本陳情は学習意欲の向上に必要な学校教材備品について、保護者の経済的負担が過重にならないよう計画の整備を求めるものである。教育教材備品の購入においてはそもそも教育に関する予算が少ないことが問題と考える。少子高齢化が社会問題となる中、子育てにかかる負担を少しでも軽減することを求めている本陳情に賛同する。

陳情第 5 号（令和 7 年） mRNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の  
意見書提出を求める陳情書

不採択

陳情第 7 号（令和 7 年） 戸田市内の小・中学校における「いじめ」をなくす取組に関する陳情

不採択

陳情第 8 号（令和 7 年） 「全ての公務員の任用に国籍条項を定める法律」の制定を求める  
意見書提出に関する陳情

継続審査

陳情第 9 号（令和 7 年） 「外国人による日本の土地購入を規制する法律」の制定を求める  
意見書提出についての陳情

継続審査

意見書

議員提出議案第 7 号

## 我が国の安全保障、国土保全及び国民生活の安心・安全を確保するため、 外国人等による土地の取得及び利用を制限する法の整備を求める意見書

原案可決（賛成 20 人 反対 2 人）

反対

日本共産党戸田市議団  
花井 あきこ 議員



安全保障や国土保全の目的には賛同するが、国籍による土地取得制限には反対。土地政策の本質は「誰が持つか」ではなく「どう利用されるか」にある。既存の調査法で対応は可能であり、むしろ国籍を問わない投機的利用や、国家戦略特区による規制緩和の弊害こそ正すべき。実態に即した政策見直しを求める。

賛成

保守の会  
河合 ゆうすけ 議員



公共の福祉の観点から財産権の制限は可能であり、諸外国との相互主義からも土地取得制限は必要である。有事の際の外国政府による土地接収や情報漏えい、電力インフラの海外依存、納税回避等のリスクに対し、現行法は直接的な規制力がなく不十分。国民の生命と国益を守るため、実効性ある法整備を強く求める。

賛成

戸田の会  
矢澤 青河 議員



外国資本による水源地や重要施設周辺等の土地取得が加速する中、現行法では対象区域や取得段階の規制に限界がある。土地は一度取得されると取り返しがつかず、重大な被害が生じてからでは手遅れである。安全保障や国土保全のための事前の備えが不可欠。本意見書は最低限の所有者把握やルール整備を国に求めるものとして意義がある。

# 一般質問

そこが聞きたい！

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。

これを「一般質問」といいます。

今定例会では、19人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。



## 化学物質過敏症や香害への対策を

**Q** 柔軟剤や消臭剤、洗剤などの香りで体調不良を訴える人が増えている。化学物質過敏症や香害と呼ばれる問題に対する本市の対策は。

**A** 学校の増改築工事では、化学物質の発生が少ない材料を使用しており、日常的な換気や年1回の空気環境測定を実施している。保育園や学童では、香りの発生が少ない洗剤などを使用し、換気対策も徹底している。

**Q** この問題を市民に広く知ってもらうために、公立施設や公共バスなどで啓発ポスターの掲示を。



国の5省庁・県による香りへの啓発ポスター

**A** ポスター掲示などで市民への周知につなげる。

**Q** 香りを楽しむ人の自由を尊重しながらも、公共の場では、香りが苦手な人に配慮する対策を要望する。

## 公平で安全な学校開放制度を

**Q** 市内18校の小中学校を246団体が利用する学校開放制度は、団体の自主運営を尊重している。一方では、利用時間をめぐってトラブルやもめる可能性もあり、不公平な話し合いとならないための対策を伺う。

**A** 運営委員会に市職員も出席しており、団体間の公平性が保たれるように努めていく。

**Q** 真夏の熱中症対策として、柔軟なルールづくりを。

**A** ガイドラインに「午前・午後交代制」を記載し、各団体が譲り合って柔軟に使用できるよう促していく。

## 薄くなった横断歩道の塗り直しを

**Q** 信号機のない横断歩道では、白いラインは市民の命を守る重要な視覚的サインとなるが、1年近くかかるケースもあり、横断歩道の迅速な塗り直しを要望する。

**A** 蕨警察署に確認したところ、緊急性の高い箇所から、順次実施しているとのこと。



## 道路の雑草などへの対応について

**Q** 道路沿いでは雑草や植栽が繁茂し、自転車レーンや歩道へ張り出すことで、見通しの悪化や接触事故の危険が指摘されている。市民からも交通安全面の不安が寄せられているが、現在どのように維持管理を行っているのか。また、限られた管理体制の中で交通安全を第一に考えるのであれば、植栽や植樹帯そのものを撤去する判断は検討できないか。

**A** 市内の道路では、植樹帯や舗装と歩車道境界ブロック間などで雑草の繁茂が確認されており、年2回の除草、年1回の剪定のほか、パトロールや通報に応じて随時対応している。また、近年の生育速度の高まりを受け、一部路線では除草回数を年3回に増やしている。植栽の撤去については、倒木の恐れまたは歩行者や車両の通行に著しく影響を与える場合には、撤去や縮小を実施している。



通報機能の活用を

## 市展の会期延長や巡回展示について

**Q** 市展について、会期が短く「実際に見に行きたいが行けなかった」という市民の声がある。会期延長や巡回展示の実施について見解を問う。

**A** 会期延長や巡回展示は、会場の日程確保や作品搬出入の負担など課題があり、現時点では実施が難しい。ただし、市展を多くの方に見ていただくことは、大変有意義なことであるため、実行委員会で共有し、今後の検討課題とする。また、展示作品の動画配信を積極的に行うなど周知の工夫を図ってまいりたい。

**Q** 市制施行60周年を契機に、市民が芸術文化に触れる機会を広げる取組を引き続き要望する。



## 自転車の交通反則通告制度

**Q** 新しい制度導入に向けた周知・啓発について伺う。

**A** 市内3駅にある8つの市営自転車駐車場への情報掲示を行うとともに、広報戸田市や町会・自治会回覧などによる周知、また、蕨警察との連携による交通安全運動で制度の理解を深める取り組みを行う。

**Q** 自転車運転中の「ながらスマホ」について、若い世代や高校生などに対してどのように周知啓発を進めていくのか。

**A** 成人式でのリーフレット配布や高校生への校門付近での啓発活動、さらには市内の自転車販売店などへ積極的な協力依頼など、幅広く周知啓発していく。

**Q** 制度の導入と同時に、自転車が安心・安全に車道を通行できる環境整備について伺う。

**A** 自転車交通量や事故の多い路線などを踏まえ、安心・安全に車道を通行できる環境の整備を進めている。



青切符反則金一覧(警視庁ホームページ)

## 高齢者のおしゃれ支援

**Q** 市内高齢者施設でのおしゃれや美容に関する活動の実施状況は。

**A** 多くの事業所でネイルやメイクが実施されている。

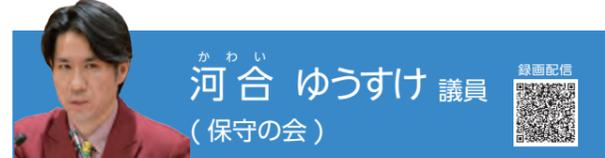
**Q** 高齢者の心身の活性化につながる活動として支援や普及促進についてどのように考えているか。

**A** 利用者からも好評を得ているので、事業者間で情報共有できるよう案内していく。

## 認知症カフェ

**Q** 個人ボランティアに対する運営費の補助はないか。

**A** 運営費の補助は行っていないが、伴走型の継続支援を行っている。



### 危険な家屋の放置を許すな！

**Q** 倒壊の恐れなどによって、近隣の家屋に危険を及ぼしているような家屋などと、その所有者に対する「空家等対策の推進に関する特別措置法」や「建築基準法」に基づく対応について、近隣住民の安全を最優先にした対応がなされるべきと考えるがどうか。

**A** 国のガイドラインに沿って対応を進めていくが、同時に、近隣住民の安全確保についても、必要な措置を講じなければならない。空家法等が施行され11年超が経過していることから、他自治体などにおける取り組み事例を参考に、現場の状況に応じてどのような対策が可能か、専門的知見を有する「戸田市空家等対策審査会」などの意見も踏まえて対処していく。

### 市長の働き方を検証すべき

**Q** 職員の中途退職の増加が問題となる中、長く働いていただくために、市長による業務指示の在り方が職員を疲弊させていないか、やりがいを喪失させていないかを検証すべきではないか。

**A** 本市の事業は組織プロセスを経ている。市長による業務指示が組織の疲弊につながっていることはない。個々の事業によっては一部の職員に負担が偏った可能性は否定できない。令和8年度から開始する新たな行財政改革の中で、職員一人ひとりに焦点を当て、やりがいをもちながら働ける環境づくりに取り組む。

**Q** 私たちは、市長が短期間で公約を達成しようと努力し過ぎた結果、職員に過度の負担がかかったという仮説を持っている。しかし、それを検証できるのは市長自身しかいない。不断の検証を続けてほしい。



市役所がまず、一番働きたい職場になろう！

### 障害児・者への防災支援を

**Q** 防災訓練への参加とマイタイムライン作成を行政が支援してはどうか。また避難行動要支援者避難支援制度の申請について、障害福祉課と連携した周知を。

**A** 日頃からの準備は重要と認識している。マイタイムライン作成支援は出前講座等を通じて行っている。避難行動に支援を必要とする方や周囲の方々に対する有効な情報提供は、関係部局と連携し研究する。

### 戸田市公共施設再編方針の内容は

**Q** 戸田市公共施設再編方針の内容中、3つの福祉センターにおける計画で、市民の声を聞く機会はあるか。

**A** 市民ワークショップを3回開催。最も老朽化が進む西部福祉センターは、建て替えに向けてのアンケート調査や11月にパブリック・コメントを行い、現在、集計している。東部福祉センターは体育室の屋根および天井断熱材の更新、空調設備の新設工事を予定している。今後も必要に応じて市民の声を聞く機会を設ける。

**Q** 西部福祉センターの「憩いの室」入浴施設存続を。

**A** 現時点では決まっていない。誰もが気軽に利用でき、心地よく過ごし、暮らしが豊かになるよう検討する。

### 公共施設への生理用品設置

**Q** 新型コロナで、「生理の貧困」が社会問題となった。現在、「経済的な貧困」だけでなく「知識の貧困」も課題であることから社会全体で捉える必要がある。市の認識は。公共施設への生理用品設置についての見解は。

**A** 正しい知識の普及に加え、偏見やタブー視などが解消されるよう、男女共同参画の視点で引き続き啓発していく。公共施設への生理用品設置は交付金の活用を含め、検討する。



学校はOK! 公共施設にも生理用品を

### 外国人学校児童生徒保護者助成金制度

**Q** 外国人も無償の日本人学校に行けるのにも関わらず、有償の外国人学校に行かせていることに対して、日本人の税金で補助する必要はないため廃止すべき。

**A** 制度の在り方を適切に検討していきたい。

### 学校給食の量が少ないのではないか

**Q** インターネットで「戸田市、給食」で検索すると出てくる給食を見ていると貧相に感じるため、給食の量を増やすべきである。基準はどのようなものか。

**A** 国の摂取基準に準拠し、適正量を提供している。

### 学校給食に関する指導について

**Q** 「宿題をやっていない子には給食のおかわりをさせない」という不適切な指導について改善すべき。

**A** 該当校では、指導の在り方について指導し、おかわりのルールを改めた。また、全校長へ再発防止を含め指示している。

### 動物愛護関連予算の増額を

**Q** 今まで何度も議会で要望しているが、担当部局が予算増額を当局に求めているのはいかなるものか。

**A** 執行状況等を踏まえ予算措置の手続きを進めている。

### 道路整備について

**Q** ①戸田駅西口に横断歩道や信号機の設置を②横断歩道の白線が薄くなっているため改善を。

**A** ①蕨警察署に確認したが基準を満たしておらず設置は難しいとのこと②改めて蕨警察署へ伝えていく。



戸田駅西口は歩行者・車両共に交通量が多い

### 外国人のマナーの悪さについて

**Q** ごみ捨てマナーの悪さや声掛け行為に困っているという声がある。市として対応を求め。

**A** 引き続きルールの周知と警察との連携を進める。

地元宿泊キャンプは魅力がたくさん！

### 市内での宿泊キャンプ実現へ

**Q** 彩湖・道満グリーンパークでの宿泊キャンプを可能とするための検討状況について伺う。

**A** 彩湖・道満グリーンパークの夜間利用に関する要望書を提出し、荒川上流河川事務所は、試行的に夜間利用を行う方向で検討いただいている。同時に、来年度当初の開設に向けた各種協議や整備を進めている。

**Q** 予定では、キャンプサイトの区画数は10サイトと少なく、収益性に不安が残るところであるが、今後の展望は。

**A** スモールスタートで発進し、実績を重ねながら、指定管理者である水と緑の公社として持続的な自走ができるように、年度ごとに事業拡大を図っていく。

**Q** 市外から多くの方々を訪れることが想定される。市民には優しい価格設定、市外利用者は、ふるさと納税の制度を利用するなど、市としての収益性向上、「稼げるまち戸田」を視野に入れた取り組みは重要。検討しているか。

**A** 水と緑の公社の営業販売収益事業においては、「手ぶらでバーベキュー」などが、ふるさと納税の返礼品として展開されており、市は公社事業に協力していく。

**Q** 戸田市キャンプ協議会などの市民の方々のご意見も取り入れて利便性の高い、市民ニーズに合った、魅力あるキャンプ場を目指していただきたい。



戸田市キャンプ協議会△主催の市内宿泊キャンプ



佐藤 太信 議員  
(戸田の会)



行財政運営の推進から職員の負担軽減を

### 市業務の効率化、コスト削減を

**Q** 業務量調査で示された紙利用率 66.9%、電子化率 14.9%を踏まえ、電子化した場合の指標を設定し、スマートシティの推進につなげるべきと考える。

**A** 電子化の推進については、効果を検討し、市民の利便性向上につながるよう挑戦する。

**Q** 目標値、進捗状況がわかるようデータの可視化を。

### 発達課題がある子への連携強化を

**Q** 乳幼児健診後も継続して支援につなげ、関係機関が切れ目なく連携する体制の強化を。

**A** 保護者の了承を得た上で、検査結果などを関係機関に共有し、各機関での適切な支援につなげている。

### 学童、放課後等デイサービスの課題

**Q** 放課後等デイサービスの受入先が見つからず困っている家庭がある。学童に適切な体制があれば利用の選択肢を広げられるのではないかと。今後の連携強化を。

**A** かねてより受け入れているが、関係機関における連携の強化、情報共有が必要となった場合には、個人情報に配慮した連携強化・共有の仕組みづくりを検討する。

**Q** 医療的ケアを含めた、いわゆる重症心身障害児を主として預かる放課後等デイサービスの現状は。

**A** 放課後等デイサービスは、令和7年10月末現在で25施設あり、そのうち2施設が重症心身障害児を主として預かり、2施設の実利用者数は8人である。

**Q** 国は運営指針を具体的に示しており、多様化する子どもの特性、職員の育成支援に対応している。学童については、本市の運営指針の明確化を要望する。



巖市の放デイ「きいとすまいる」に戸田市の子どもも通っています



花井 あきこ 議員  
(日本共産党戸田市議団)



### タブレット学習について

**Q** タブレット学習の効果および課題は。

**A** タブレットは個別最適な学びや協働的な学びを促進し、学習の質を高めている。一方で、情報量の増加に伴い、必要な情報を見極め判断する力の育成が重要な課題となっている。

**Q** タブレット端末の自宅への持ち帰りについて。

**A** 持ち帰りは一律ではなく、学年や実態に応じて柔軟に対応しており、自宅の端末を利用できることを認めている。今後も適切な運用が行われるよう周知徹底を図る。

**Q** デジタル中心の授業により、低学年の視力や学習の定着が懸念されている。紙教材は理解を深め基礎的な読み書き力を育む上で重要。紙とデジタルの適切なバランスを確保し、紙でしか得られない学習効果を重視した運用を要望する。



### 保育行政について

**Q** 0・1・2歳児の保育料軽減を。

**A** 保育料軽減は多大な財政負担を伴うため、国や県の動向、近隣自治体の状況を踏まえ、引き続き調査研究していく。

### 公園のトイレについて

**Q** 年度あたり2カ所程度の洋式化への改修を行っているが、市として適正と考えるか。

**A** 公園トイレの洋式化は、老朽化や維持管理費の増加、公園数の多さなどを踏まえ、まず修繕が必要な公園を優先して進めており、現時点では年間2カ所程度を洋式化している状況である。



小山 大輔 議員  
(政策 TODA)



国勢調査員の負担を軽減したい

### 国勢調査における課題について

**Q** 調査員が直面した具体的な課題は。

**A** マンションなどの集合住宅の訪問方法やオートロック対策、外国人への対応についての課題があった。

**Q** 調査員の負担軽減策の検討状況を伺う。

**A** 市としても何らかの対応が必要であると認識していることから、今後、これらの課題を整理し、国に対し要望していきたいと考えている。

### 庁舎の活用と市民サービスについて

**Q** 市役所地下にあるコンビニエンスストアが休業となった。市としての対応は。

**A** 地下売店の休業は、来庁者や職員などへの影響が大きい。早急に運営を再開することなどを含め、現状を直ちに改善するよう強く要望した。

**Q** 収入印紙販売の代替手段は。

**A** 収入印紙をお求めの方に対しては、市役所における販売が再開できるまでは、最寄りの郵便局を案内している。



市役所地下のコンビニスペースは閉鎖中

### 市職員の負担の増加について

**Q** 職員負担の現状について伺う。

**A** 超過勤務は減少傾向だが、年度や所属によって増加するケースもあることから、業務効率化だけでなく、職員の増員にも取り組んでいく。

**Q** 市職員の負担をどのように軽減させていくのか。

**A** 年度途中の経験者採用や年間を通じた募集の実施など、職員採用活動に力を入れている。

※令和7年12月から営業が再開され、収入印紙の販売も行っている



矢澤 青河 議員  
(戸田の会)



粗大ごみの申し込みはお早めに!

### 粗大ごみの受け入れの影響は

**Q** 衛生センター火災後、可燃ごみを市外へ搬出するため十分な車両が確保できず、受け入れを制御していたが、引越しの多い3月頃の受け入れは大丈夫か。

**A** 衛生センターの可燃ごみ焼却処理が3月に再開予定であり、粗大ごみの運搬体制も改善されるため、粗大ごみの受け入れに支障は生じないと考えている。

**Q** もし受け入れが追いつかない場合は、追加委託や収集遅延の周知、急ぐ方への柔軟な対応を要望する。

### 新築住宅のごみ集積所トラブル

**Q** 「数軒の住宅新築時に、集積所の設置や地域との事前調整が行われず、入居者が調整を迫られたり、無断で既存の集積所を利用するトラブルが生じている」との声が寄せられた。本市では500平方メートル以上の開発行為には集積所の新設が条例で義務付けられているが、小規模の新築は対象となっていない。しかし、開発行為に関わらず、新設や既存施設の利用、変更・廃止をする際は地域と協議することが要綱で定められている。したがって、小規模の新築住宅などの場合でも、事業者が集積所の地域調整を担うことが望ましいと考える。さいたま市では令和3年に要綱を改正し、500平方メートル未満の新築でも「5戸以上は設置」、「既存の集積所の利用には地域協議」を事業者に義務付け、住宅検査センターなどを通じて周知している。本市でも対策を講じられないか。

**A** 地域の同意を求める仕組みは重要な視点と認識している。他市の運用や衛生自治会の意見を踏まえ要綱改正も含め、検討する。

さいたま市内に住宅等を建築される事業者の皆様へ

5戸以上の住宅を新築する事業者	事前に近隣関係者の同意を得て、新たにごみ収集所を設置することが必要です。
4戸以下の住宅を新築する事業者	既存の収集所を利用するにあたって、事前に管理者及び既存利用者の同意を得ることが必要です。 ※同意を得ることができない場合は、管轄の清掃事務所に相談してください。

事業者向けのごみ集積所周知チラシ(さいたま市)



野澤 茂雅 議員  
(戸田の会)



子供・保護者・保育士、皆が楽しく幸せに

## 保育園の保育内容・労働環境の改善

**Q** 保育の質・魅力の向上事業を推進している中、民間保育所における、園運営の不備・劣悪な労働環境・職員離職・保護者の不信感・保育環境の混乱などが発生した場合の対応(監査・是正)について伺う。

**A** 埼玉県の施設監査と同日に確認指導監査を行うほか、市の保育士・看護師が園訪問を行い、運営・保育内容・衛生・労務などを確認し指導している。指導内容は、指導事項・注意事項・助言事項の3区分で、特に法令違反や安全配慮に関わる指導事項については、是正まで継続指導し、必要に応じて改善勧告などを行う。

**Q** 市内の民間保育所には、通常監査では見えない多くの不備を抱えた園が存在する。改善するには行政の確実な監査・指導が必要である。推進していただきたい。



魅力ある保育の力で子どもたちの成長を支える

## 中学校での飲料自動販売機の導入

**Q** 本市では、飲料メーカーと災害対応型自動販売機等に関する災害協定等を締結し、公共施設に設置している。これを、防災・熱中症・教育的効果・地域連携の観点から中学校に設置することについて伺う。

**A** 全国的には中学校に設置している例もあり、水筒を忘れたなどの生徒への対応や猛暑下の水分補給手段の一つとして有効。一方で、導入・運用に関しては、金銭や衛生面などの管理に配慮が必要となる。自動販売機の導入に限らず、生徒の自主性を大切に\*  
取り組みは、本市のPBLの理念と一致する。売上の一部が「部活動地域展開の取り組みの一環」として、地域クラブ活動の運営団体に寄附される仕組みについても研究していく。



竹内 正明 議員  
(公明党)



障がい者が活躍する機会を広げてほしい

## 障がい者スポーツ・文化芸術活動推進

**Q** デフリンピック開催を機会にパラスポーツだけではなくデフスポーツ選手の支援や聴覚障がい者についての理解が前進する良い機会だと考えるが見解は。

**A** その他のスポーツと同様に活躍している選手への助成や表彰を行うとともに、情報発信による支援、デフスポーツに触れる機会の提供など、理解を深められるよう関係所属や関係団体と連携しながら取り組む。

**Q** 障がい者の活躍の機会や理解を広げるためデフスポーツの推進にも取り組んでほしい。また戸田市文化芸術推進条例の理念にある「障害の有無等にかかわらず等しく、文化芸術活動に取り組むことができる環境の整備」は重要だ。市役所庁舎内や戸田ボートレース場の空きスペースなど、市民の目にふれやすい場所に障がい者アートを展示するなど、活躍する機会の拡大を。



本市の上森選手も出場したデフリンピック

## 障がい者の就労支援

**Q** 学校卒業後の就労選択に向けた取り組みとして「支援学級などでの早い情報提供」を訴えてきた。現状は。

**A** 令和6年6月議会で答弁したとおり、企業と連携した進路や就労の説明会を今年度も中学校で実施し、生徒やその保護者に対して、進学を選択肢だけではなく、将来の就労や自立の観点から情報提供を行っている。

**Q** 令和7年10月に開始した就労選択支援の利点は。

**A** 本人の希望や適性に応じて、就労に必要な知識および能力の向上に資する福祉的就労サービスや、一般就労への移行といった就労に関する機会が提供されるものとする。令和7年10月末時点で県内において24事業所が開設されている。



石川 清明 議員  
(公明党)



災害時に安全に治療を

## 災害時の透析患者への対応について

**Q** 災害時における透析患者への安全確保の対応は。

**A** 避難行動要支援者支援制度により、高齢者や障がい者などの情報を、平常時から避難支援等関係者と共有し、災害時には、可能な範囲で避難支援を行う。透析患者に関する平常時の連携は「藤・戸田地区保健医療協議会」にて情報共有や顔の見える関係を構築、発災時には、埼玉県「災害時透析医療確保マニュアル」に従い、安否確認や支援活動を行う。

**Q** 自治体向けの災害時の際の対応マニュアルは厚生労働省のガイドラインに基づき、各都道府県や市町村が策定している。災害時に迅速かつ確実に、誰が担当しても透析治療を継続できるよう、本市においても透析患者対応マニュアルを策定してはどうか。

**A** 透析患者の対応に特化したマニュアルはないが、今後、地域防災計画の改定時におけるマニュアルの整備を行う際に、透析患者に関する対応の記載を検討する。



## 災害時の視覚障がい者避難行動支援

**Q** 災害時に自立かつ安心して避難するための支援ツールとして、「ナビレンス」を活用してはどうか。

**A** 「ナビレンス」はスペインで開発された視覚障がい者向けのアプリで、スマートフォンのカメラで2次元コードを読み取り、距離や情報が得られるものであり、他市の公共施設で実証実験を実施していることは把握している。活用については、引き続き他自治体の動向を注視し、調査を進めていく。



三浦 のぶお 議員  
(公明党)



大切な市民ニーズを計画に反映を

## 西部福祉センター再整備基本構想

**Q** 商業施設の少なさや地域の活動場所不足といった課題に対し、施設を中心としたイベントや活動拠点とすることに加えて、商業機能併設の考えがあるか伺う。

**A** 市民ワークショップにおいて、地域のイベントを開催できる活動場所や、カフェラウンジといった商業機能の併設、こどもの居場所や学習スペースを希望するご意見などを頂いている。現時点では、どのような機能やスペースを有するものとするかは決まっていないが、地域の課題解決に役割を果たすものとなるよう、再整備に向けて取り組んでいく。

**Q** 地域特性や住民意見を踏まえ、今後の西部福祉センター再整備に向けて、市長としてどのように考えているか伺う。

**A** 西部福祉センター再整備に対する、地域の皆様の期待や思いを強く感じているところである。今後、西部福祉センター再整備基本構想に基づき、美女木・笹目地域の課題解決に役割を果たす拠点としての再整備を進め、地域の魅力向上を目指していく。



西部福祉センター

## 期日前投票の環境整備について

**Q** さくらパルへの期日前投票所設置の可能性は。

**A** さらなる期日前投票所の設置においては、立会人や事務従事者の確保、開設経費など、選挙を執行していくためには、これ以上、期日前投票所を開設することは難しい状況である。

**Q** 将来の投票環境の選択肢として、検討対象から外さないという柔軟な姿勢をお願いしたい。



へん み とも こ  
**辺見 智子** 議員  
 (戸田の会)



## 喫煙対策と禁煙支援の今後は

**Q** 受動喫煙防止対策ガイドラインの取り組み状況、禁煙チャレンジ教室の概要、公園内禁煙の実証実験の概要は。

**A** ガイドラインは平成30年に策定し、公共施設の敷地内禁煙の実施や市内飲食店に認定禁煙実施店のご協力をいただき周知を図るなど対策を進めている。禁煙チャレンジ教室では講習や測定、埼玉県コバトン栄養健康アプリを活用した支援をしている。公園では157の公園を全面禁煙とする実証実験を実施しており、結果を踏まえ今後の方向性を検討する。

**Q** 公園の実証実験はどのような意見・要望があったか。

**A** ご意見は17件あり、賛成14件、反対2件、その他1件。公園を掃除して下さっている方からはたばこのポイ捨てが少なくなってきたとの声もある。アンケートでは約8割が公園内禁煙を望む結果だった。

**Q** 来年度からの禁煙チャレンジ教室の予定は。

**A** 今回、喫煙以外の健康課題も把握できたため、他の健康事業を案内することなども可能と考える。禁煙は早期対応が望ましいことから、来年度は喫煙者への個別案内に加え若い世代への働きかけも検討する。

**Q** 受動喫煙防止対策ガイドラインやポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例は長年取組みられ改善も重ねられてきたが、ブラッシュアップが必要な点もある。なお、喫煙をやめるべきと伝えたいわけではない。喫煙される方にも生活があり、喫煙しない方にも守りたい健康がある。ひとりひとりがルールを守り、互いに配慮しながら気持ちよく過ごせる環境をつくれるよう、より実効性の高い施策になることを期待する。



マナーも健康も大事にしましょう



たく や  
**そごう 拓也** 議員  
 (政策TODA)

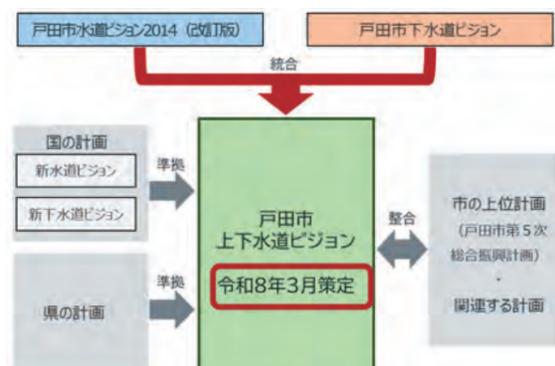


持続可能な経営を

## 水道施設の老朽化と持続可能な経営

**Q** 「水道ビジョン2014(改訂版)」から10年が経過し、改定時期となった。水道施設の老朽化が急速に進む中、次期ビジョンにおける統合の狙い、DX推進、将来の経営基盤の強化にどう取り組むのか。

**A** 昭和60年前後の埼京線開通期に集中整備された管路が一齐に更新時期を迎え、法定耐用年数を超えた経年化率は令和6年度決算値で31.25%となり、令和元年度決算値から約13ポイント増加した。漏水修理は年間300件を超え、管路耐震化率も53.37%となっており、楽観視できる状況ではない。この課題に対し、上下水道ビジョンの組織統合により経営資源を融合させ、強固な事業基盤の構築に努めていく。施設の更新には、中長期的な投資・財政計画を策定し、施設の最適化および効率的な投資を図り、計画的に実施する。また、DX推進には、現在の浄水場維持管理業務や配水管理設置などを管理するシステムを運用しており、継続的なデジタル技術の活用に取り組んでいる。なお、スマートメーターの導入は費用対効果などを慎重に見極める。しかし、これらの更新需要に伴い、建設改良費などの資本的収支は不足が生じ、内部留保資金で補填している。ライフラインとしての役割を果たしていくため、水道料金の定期的な見直しを含めた経営審議会での検討を進め、効率的かつ計画的な事業経営を図っていく。



①水道ビジョン：国 → 県 → 「市」  
 ②計画：総合振興計画 → 「水道ビジョン」  
 ③統一：上水+下水 → 「上下」

戸田市上下水道ビジョンの概要



さか い  
**酒井 いくろう** 議員  
 (戸田の会)



外国人も日本人も滞納防止を！

## スポンサー更新は建て替えキープを！

**Q** スポーツセンターの老朽化に伴う建て替えが決定した。しかし、昨今の建設コスト高騰などにより、改修による長寿命化も再度検討されることになった。①専門業者によれば、既存の建物は安全性、機能性、経済性に劣ることから建て替えるべきとの結論に至っている。メリットの大きい現状の建て替え案を維持するために最大限の手段を検討すべき②建て替えに当たっては、現行の施設で必要性の低いと目される施設を見直すべき。アリーナの天井高や2階座席などの利用度および維持管理コストを検証し、市民に活用される利用度の高い「元が取れる施設」を作してほしい。

**A** 建て替えを前提に最適で確実な方法を選択する。施設の仕様は、効率性と効果を追求した合理的なものとする。



敷地は赤色部分まで拡大される。青色部分は公園用地とする計画もある。

## 外国人の滞納に総合的な取り組みを

**Q** 外国人の国保税の滞納が多く、それによる本市の損失は5年で2億円以上となっている。①外国人等を対象に、1年分の保険料を前払いさせる「国保前納制度」を導入し、未回収リスクの低減を②滞納理由の1つは制度理解の不足や手続き面が困難であること。最も確実なのは口座振替の標準化。その他、手続きのアシストや情報提供など、国籍を問わず行い、さらに外国人に対しては分かりやすく案内すれば滞納が減らせると考えるが、市の見解は。

**A** ①前納制度は、今後導入の必要性を適切に判断する②SMSやメールによる催告については、先行事例を調査している。効果が見込める場合は実施を検討する。



こ がね ざわ まさし  
**小金沢 優** 議員  
 (りっけん戸田)



足立区のように防犯用品の展示の工夫を

## 戸田市住まいの防犯補助事業

**Q** 本事業に係る周知の徹底を。

**A** 本事業は、戸建て住宅に居住する世帯主を対象に、防犯カメラや防犯ガラスなどの購入・設置費用の2分の1または上限2万円を補助金として交付するもの。今後もあらゆる機会を通じて、事業の周知・広報活動を継続的に行い、補助金利用者の拡大を図っていく。



住まいの防犯補助事業(足立区)

## 学校トイレの清掃

**Q** 保護者からトイレの衛生面について不安があるという声をいただいている。清掃や消毒などの状況は。

**A** 各校に配置の2名の校務員が、日常的に消毒を含めた清掃を行うことを基本とするとともに、児童生徒による清掃も実施している。日常清掃では対応が難しい排水管の汚れについては、3年に1度、専門業者に委託し、便器や手洗い場を含めた排水管清掃を実施している。

**Q** 業者の清掃が3年に一度では少ない。年間に数回、専門業者による清掃を要望する。

## 自転車の交通反則通告制度

**Q** 制度や反則行為の種類について伺う。

**A** いわゆる「青切符」の導入については、令和6年5月に道路交通法の一部を改正する法律が公布され、令和8年4月1日から施行されることにより、自転車を対象となる反則行為区分が、新たに65追加される。主なものとして、携帯電話使用等・信号無視・無灯火・通行区分違反・並進禁止違反などがある。対象は、16歳以上の者が行った自転車の反則行為に対して、青切符による処理が行われる。

## 議会モニターとの意見交換会を開催しました

市議会モニターと、議長、副議長、議会運営委員長、議会改革特別委員長、議会広報委員長による意見交換会を開催し、「議会に関心をもっていただくための取組について」というテーマで意見交換を行いました。意見交換では、開かれた議会にしていくために議場を有効活用してはどうか、議員だけでなく事務局職員や市議会モニターにももっと焦点を当てて広報していくのはどうかなど、自由な発想で活発な意見交換が行われました。



市議会モニター制度は本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧ください、議会運営に対する意見を提出していただく制度です。また、年に2回、議員との意見交換会を開催しています。

議会だよりに、各事業に対する市職員の思いや苦労話などを載せてはどうだろうか

子供たちの社会見学の場として議場をもっと活用しては？



子供たちを対象とした議会のイベントは今後もぜひ継続してほしい！

議場でコンサートもおもしろいかも！

## 請願・陳情がオンラインで申請できるようになりました！



請願・陳情とは、市政に対する意見や要望を市議会に対して提出できる制度です。これまで請願・陳情の提出は文書のみでしたが、個人（1名）の場合は、市の電子申請システムから、スマートフォンやパソコンからインターネットを通じて提出することができます。

※電子証明書（公的個人認証サービス）入りのマイナンバーカードおよびマイナンバーカードに対応したICカードリーダーまたはスマートフォンが必要です。



# 委員会 視察レポート

本市議会では、常任委員会は「年間活動テーマ」について、特別委員会・議会運営委員会はより良い議会を目指し、それぞれ調査・研究を行っています。

今定例会の初日には、閉会中に各委員会が実施した先進地への視察について、各委員長から報告がありました。ここではその概要をお伝えします。

## 総務常任委員会 被災地の経験を本市の防災に生かすために

### <茨城県常総市>

常総市は、茨城県の南西部に位置し、市のほぼ中央には鬼怒川が、東側には小貝川が流れています。平成27年9月に発生した関東・東北豪雨では、鬼怒川の堤防決壊により、市の3分の1に相当する約40平方キロメートルが浸水し、甚大な被害を受けました。検証の結果、「災害を経験したからこそその経験が生かされている点がさまざまあり、このような事例に近づくために、何が必要かを具体的に考えるべきではないか」といった意見が出ました。



常総市での視察の様子

## 文教・建設常任委員会 自治体の課題を解決するためのスマートシティ推進事業

### <兵庫県加古川市>

見守りカメラの防犯効果検証に3D都市モデルを用いたり、まちづくりの話し合いにオンライン意見交換ツールを導入するなど、まちの課題解決のために積極的にデジタル技術を活用していました。

### <香川県高松市>

持続可能な都市運営の土台作りとして、台帳類のデジタル化、オープンデータ化に着手し、地理空間データ基盤の構築を進めています。基盤を活用し防災や交通情報の市民向けアプリも開発されました。



検証後に設置されたAIを活用した見守りカメラ

## 健康福祉常任委員会 官民連携や地域とのつながりで孤独・孤立対策の推進を

### <愛知県豊田市>

豊田市では、孤独・孤立は誰にでも起こり得るものとし、悩みや困りごとが深刻化・複雑化する前の「予防」に重点を置いています。イベントや地域交流などを通して、全庁および官民連携による孤独・孤立対策が実施されています。

### <愛知県春日井市>

春日井市では、地域団体や社会福祉法人、企業などに呼びかけ、自分たちが地域でできることを官民協働で考え取り組む「つながりづくりプラットフォーム」が実施されています。



春日井市での視察の様子

## 市民生活常任委員会 上下水道インフラを支える先進的な取り組み

### <奈良県広域水道企業団広陵事務所>

上下水道の管路において、設計と工事を一括で発注する方式である「管路DB方式」（DBはデザインビルドの略）を導入することで、事業期間の短縮や計画的な業務遂行につながっています。

### <静岡県浜松市>

民間活力を活用して施設の維持・更新を行う官民連携方式である「ウォーターPPP」を導入しており、行政のスリム化やコスト削減、地域社会への貢献などを実現しています。



広陵事務所での視察の様子

## まちづくり・交通対策特別委員会 外出機会を創出する新しい移動サービス「グリスロ」

### <東京都杉並区>

時速20キロメートル未満で公道を走行する電動小型モビリティのグリスロローモビリティは、低速のため乗り心地が良くかつ開放的であり、土地利用の8割が住宅地という杉並区の生活道路に適合しておりました。本市で導入する場合には運行ルートが限定されることから、さらなる調査が必要である一方で、普通一種免許でも運転可能であることから、運転手不足問題が起こりにくい点は大きなメリットであるといえます。



杉並区を走る2種類のグリスロローモビリティ

シリーズ特別編  
議員紹介④

～聞きたい 知りたい 議会のしごと～

# 議会を知ってココ!

令和7年1月の選挙を経て、新たな顔ぶれでの4年間が始まった戸田市議会。そこで、皆さまに少しでも議員を身近に感じていただけるよう、普段は議会の仕組みを紹介する「議会を知ってココ」の特別編として、24人の議員を紹介していきます。



質問は、議会広報委員会が複数用意した中から、議員本人が選んだものに答えていきます。

議席番号 **18** <sup>さいとう なおこ</sup>  
齋藤 直子 (平政会 7期目)

- Q. 議員をやっている良かったと思うときはどんなときですか？
- A. 議会がチームとして、条例や政策立案で課題解決したとき。
- Q. 議員になって感じたことは？
- A. 「人のさまざまな出逢いがある、自分が生かされている」と強く感じた。
- Q. はまっている(熱中している)ことは？
- A. 在宅介護と仕事の両立を、いかに楽しく充実させるか。
- Q. 私生活で心がけていることは？
- A. 小さなことでも初めてのことを発見してチャレンジ！感動すること!!



ふるさと祭りで流し踊りにチャレンジ!

議席番号 **22** <sup>えんどう ひでき</sup>  
遠藤 英樹 (政策 TODA 7期目)

- Q. 議員をやっている良かったと思うときはどんなときですか？
- A. 様々な魅力のある方たちと数多く出会えること。
- Q. 議会がないときはどんな仕事をしていますか？
- A. 公認会計士・税理士として会計事務所を経営しています。
- Q. 趣味や特技を教えてください。
- A. スポーツ観戦。ナショナルチームの試合は全競技見ます。
- Q. はまっている(熱中している)ことは？
- A. サ活。リフレッシュのために週1回はサウナに行きたい。



家族や友人と過ごす時間を大切にしています

議席番号 **19** <sup>たけうち まさあき</sup>  
竹内 正明 (公明党 4期目)



家族と子ども食堂(クリスマス会)に参加。

- Q. 趣味や特技を教えてください。
- A. BOØWYのコピーバンド(vocal)、バレーボール、空手
- Q. 議員になって感じたことは？
- A. 悩みを一緒に考え寄り添うやりがいのある仕事
- Q. 私生活でルーティンとしていることは？
- A. こども食堂など「みんなが笑顔になる活動」を続けていく
- Q. 家族の紹介(ペットも含めて)。
- A. 元美容師の妻、アート得意な長男(愛息のひろにゃん)

議席番号 **23** <sup>あそ かずひで</sup>  
浅生 和英 (戸田の会 3期目)



(己書自書) きっと美味しくいただきますように!

- Q. 趣味や特技を教えてください。
- A. 洋裁は実用、己書は自由な文字に没頭しています。昨年始めました。
- Q. どんな資格を持っていますか？
- A. 美容師、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、防災士、予祝講師
- Q. 議員になって感じたことは？
- A. 横断歩道など市民生活に直結しても、市で決められないもどかしさを感じています。
- Q. 家族の紹介(ペットも含めて)。
- A. 妻、息子、猫6匹(保護したら、いつの間にか増えていきました)

議席番号 **20** <sup>いしかわ きよあき</sup>  
石川 清明 (公明党 4期目)

- Q. 議員をやっている良かったと思うときはどんなときですか？
- A. 市民の皆様の課題や要望にお応えできたとき。
- Q. どんな資格を持っていますか？
- A. 防災士と防火管理者、普通救命講習1。
- Q. 好きな食べ物は何か？
- A. グリーンカレーやかつ丼、やっぱり玉子焼き。
- Q. 尊敬する人は？
- A. 上杉鷹山(米沢藩を変革した名君)



妻のふるさと・秋田県鹿角市きりたんぼ交流祭り in 飛鳥山にて・美味しかったです^^

## 戸田市議会SNSで活動の様子を発信!

戸田市議会では、市議会の活動を身近に感じていただくための取り組みとして、議会SNS(Instagram、Facebook)を導入しています。定例会の日程などの議会スケジュールのほか、主催事業のとだみらい会議や議会モニターとの意見交換会などの様子も紹介しています。ぜひチェックしてみてください。



Instagram



Facebook

# 議会傍聴案内

議会は誰でも傍聴することができます。



## ▼ 傍聴の流れ

### STEP 1

**本会議傍聴**→市役所 8 階傍聴受付にお越しください。

**委員会傍聴**→市役所 6 階議会事務局にお越しください。



### STEP 2

受付簿に必要事項を記載していただきます。



### STEP 3

傍聴の心得を守り、傍聴してください。会議の途中でも入退場は可能です。

### STEP 4

お帰りの際に、傍聴券を係員に返却してください。



### その他

直接議場に来ることができない場合には、右の QR コードからパソコンやスマホなどで視聴することもできます。



議会録画中継

また、議会 SNS からさまざまな議会情報を確認することができますのでぜひこちらもご覧ください。



Facebook



Instagram

題字を  
書いて  
くれた人



とめ、はね、はらいを 1 画 1 画丁寧に書くことを意識し、字の太さに気をつけてメリハリをつけました。

今後はこの経験を活かし、普段の字も丁寧に書いて、よりきれいな字を目指していきたいです。

新曽中学校 3年 きよもと さゆ  
清本 紗由さん

### 次回 3 月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
	2/2	3	4	5	6	7
	役職改選	役職改選		議案説明	議案説明	
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
			総括質問	質疑	常任委員会	
22	23	24	25	26	27	28
		常任委員会	常任委員会	常任委員会	特別委員会	
3/1	2	3	4	5	6	7
	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問		
8	9	10	11	12	13	14
			討論採決			



**ほっとコーナー**  
昨年、友人に誘われ山登りに挑戦しました（中学以来！）。新緑や紅葉を見ながら自然の空気を楽しみ、四季の移り変わりに感謝しました（^^）。今年も環境を大切にしながら、様々なことにチャレンジします！！（葉）

**早**いものでもう 2 月。忙しい時こそ深呼吸し、対話を重ね、穏やかな一年を刻んでいきたいです。（そ）

**1**年の計を胸に歩き出した 2026 年。未来を見据えた責務をどう果たすのか、自らに問い続けた。夢はいつも、大きく高く掲げていく。さあ一緒に！（野）

**市**内で冬キャンプを楽しみました。焚き火を囲み、澄んだ星空の下で語らう時間は、心まで温まる特別なひとときでした。地元で宿泊キャンプができる魅力を実感し、今後の実現に期待が膨らみます。（古）